

01 推進方針

社員一人ひとりの健康実現とその先の「Enjoy Your Growth!」体現を目指し、「身体の健康」「心の健康」「社会的健康(エンゲージメント)」の視点にて取り組みを行います。

02 目標・課題

目標 社員一人ひとりのパフォーマンス向上(働きがいもち、業務に取り組む)

目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
アブセンティズムおよびプレゼンティズムの改善	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
アブセンティズム:2.5日 / プレゼンティズム:78%	2026年度

自社従業員の課題

重点課題① [KGI] アブセンティズム:2.5日 / プレゼンティズム:78%



⑧健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

課題内容 健康診断での有所見率は毎年60%後半(2022年度68.9%、2023年度65.0%、2024年度57.7%)を推移しており、目標は達成したものの、全国平均・健保平均と比較すると高い状態にある。二次検診などの推奨は行っているが、従業員それぞれの健康課題について詳細を管理しきれていないことも課題である。

数値目標 (KPI)

名称:有所見者率の改善	数値	単位	年度
取組前実績値	65.0	%	2023年度
現在の実績値	57.7	%	2024年度
目標値	58.7	%	2026年度

重点課題② [KGI] アブセンティズム:2.5日 / プレゼンティズム:78%



⑬メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応に関する課題

課題内容 毎年実施しているストレスチェックにおいて、高ストレス者の割合は5年平均6.8%であった。全国平均・業界平均を下回っている状況であるが、より一層高ストレス者の割合を減らすため、予防・改善を行っていく。

数値目標 (KPI)

名称:高ストレス者の割合	数値	単位	年度
取組前実績値	4.4	%	2022年度
現在の実績値	5.1	%	2024年度
目標値	5.0	%	2030年度

取り組みにおける課題や困っていること

現在実施している施策での課題や困っていること 全社的な施策やイベントへの参加率が低い点。

データ利活用事例

事例名	歩数計アプリ「RenoBody」を利用した歩数情報の利活用
内容	ウォーキングイベントの開催にあたり、社員に対し歩数計アプリ「RenoBody」のダウンロードを依頼し、1ヵ月間の歩数を計測し、参加社員の1日あたりの平均歩数データを取得した。
利用データ	ライフログ(歩数)
利用者(ユースケース類型)	人事部管理職等(ユースケース2)、従業員(ユースケース3)

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)



健康に対する意識や知識向上のためのeラーニングの周知や、運動習慣の身に着けるためのウォーキングイベント、また食生活改善のためのイベントを行った。

具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス
名称	JMAM eラーニングライブラリ®
内容	全社員に必要な知識やスキルなどを動画で分かりやすく、手軽に学べるeラーニングサービス。健康経営に特化したコンテンツも充実している。
導入時期	2010年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営関連eラーニング受講人数:44人 管理職への労務研修の一環として受講案内を行い、新任管理職の100%が受講完了した。 JMAM e-ラーニングライブラリ®「健康経営ライブラリ」を閲覧することによって、ヘルスリテラシーの向上に繋がった。

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	Renobody
提供元社名	株式会社Wellmira
内容	歩数計アプリ「RenoBody」を使用し、企業内において歩数や距離を競うウォーキングイベントを開催することで健康促進、運動習慣定着が期待できる。
導入時期	2023年4月
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●評判 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> イベントへの参加人数:59人(割合:10%) イベント開催中の1日あたりの全体平均歩数:7238歩 ウォーキングイベントの実施により運動習慣のきっかけ作りに寄与できた。

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	あすけん
提供元社名	株式会社asken
内容	AI食事管理アプリ「あすけん」を使用することで、毎日の食事や運動を記録し、栄養バランスやカロリー摂取量を管理することができる。
導入時期	2024年2月
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●実績 ●評判 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> イベントへの参加人数:45人(割合:8%) 一か月間毎日毎食、食事データを入力した人は44人(8%) あすけんイベントの実施により食生活改善のきっかけ作りに寄与できた。

施策内容(重点課題2)



メンタルヘルスに関する知識向上や予防対策のためのeラーニングの周知や、残業時間およびPCの稼働時間の管理、またストレスチェックの受診率100%を達成するための活動を行った。

具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス
名称	JMAM eラーニングライブラリ®
内容	全社員に必要な知識やスキルなどを動画で分かりやすく、手軽に学べるeラーニングサービス。メンタルヘルスに特化したコンテンツも充実している。
導入時期	2010年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営関連eラーニング受講人数:44人 JMAM e-ラーニングライブラリ®「健康経営ライブラリ」を閲覧することによって、メンタルヘルスの知識が向上し、予防や対策ができた。

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	NEC働き方改革支援ソリューション
提供元社名	NECソリューションイノベータ株式会社
内容	働き方改革を支援するサービス。弊社においては、PCの稼働状況と勤怠のデータを照合し乖離をチェックする機能を利用中。また、業務内容の可視化機能も活用している。
導入時期	2019年
選択理由	●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 全社の平均残業時間:18時間(2024年7月~2025年6月) サービス導入によりPCの稼働状況と勤怠の乖離が減少した。

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	ストレスチェッカー
提供元社名	株式会社HRデータラボ
内容	ストレスチェックサービス「ストレスチェッカー」により、ストレスチェックおよび、そのデータ分析、改善が可能。
導入時期	2024年2月
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェック受診率:100% 高ストレス者の割合:5.1%(5年平均6.8%) 社員のストレス状況を把握することができ、人事施策に活かすことが可能。

04 健康経営の成果

検証指標	プレゼンティズム、アブセンティズム、エンゲージメント、有所見者率、高ストレス者数
検証手法・方法	健康アンケートでの確認、年1エンゲージメント調査、健康診断結果
検証結果(具体的な施策の成果を含む)	2022年度より健康経営推進がスタートし、プレゼンティズム、アブセンティズム、エンゲージメント調査を初めて行った。継続的に検証をしていく。有所見者率については、健康診断結果より継続検証を行う。